

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-A166A/J	Rev.	第1版
題名	R8C/Tiny シリーズ I ² Cバスインタフェース マスタ受信モード時に関する注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	下記参照	対象ロット等	関連資料		
		- -			

1. 注意事項

下記適用製品に内蔵されていますI²Cバスインタフェースにおいて、マスタ受信モード時に下記の注意事項があります。

マスタ受信モードでは、RDRF=1 の状態で8クロック目が立ち下がった場合、ICDRR レジスタを読むまで SCL が“L”に固定されます。しかし8クロック目の立ち下がり付近で ICDRR レジスタを読むと、次の受信データの8クロック目と9クロック目の間を1クロック分“L”に固定するだけで、その後 ICDRR レジスタを読まなくても SCL の固定を解除して9クロック目を出力し、受信データが上書きされます。

2. 対策

下記のいずれかの対策を実施してください。

- 1) マスタ受信モードで、RDRF=1 の状態では、8クロック目の立ち上がりまでに ICDRR レジスタを読んでください。
- 2) マスタ受信モードでは RCVD=1 にし、1バイトごとの通信で処理を行ってください。

3. 適用製品

R8C/16 グループ、R8C/17 グループ、R8C/1A グループ、R8C/1B グループ、
R8C/20 グループ、R8C/21 グループ、R8C/22 グループ、R8C/23 グループ、
R8C/24 グループ、R8C/25 グループ、R8C/26 グループ、R8C/27 グループ、
R8C/28 グループ、R8C/29 グループ、R8C/2A グループ、R8C/2B グループ、
R8C/2C グループ、R8C/2D グループ

以上